

平成 28 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

LT Game Japan 株式会社の第三者割当増資引受 (子会社化) 及び新規事業開始に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 7 月 1 日開催の取締役会において、以下のとおり、LT Game Japan 株式会社（代表取締役：木村 寿一、本社：東京都港区、以下「LTJ 社」）が実施する第三者割当増資を引き受け、新規事業に参加することについて決議し、平成 28 年 7 月 1 日付で第三者割当増資引受に関する契約を締結することといたしました。これに伴い、同社は当社の連結子会社となりますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 第三者割当増資引受の理由

LTJ 社は、日本独自のコンテンツ（漫画・キャラクター・デザイン・アニメーション等）やアミューズメント機器開発の技術等の日本のものづくり技術を取り入れたカジノ用ゲーミングマシンの開発、製作、販売、輸出及び保守管理等を行うことを目的に平成 28 年 2 月に設立されました。現在、カジノ施設で設置されている多くのカジノ用ゲーミングマシンは、メカスロット、ビデオスロット、版權物スロットと緩やかに進化しているものの、更なる進化が可能であると想定しております。そのような現状のカジノ用ゲーミングマシンに日本独自のコンテンツや技術を取り入れることにより、従来に増したゲームを楽しむ為の演出等を多く盛り込むことで、よりアミューズメント性・エンターテインメント性の高いカジノ用ゲーミングマシンの開発が可能となり、世界のカジノ市場において優位性を得られるものと考えられます。なお、既に国内大手ゲーミングマシンメーカーも同様のカジノ用ゲーミングマシンの開発を行っており、ゲーミングマシンが次なるステージに進化することにより、市場規模は拡大していくものと考えられます。LTJ 社においても、日本が世界に誇るコンテンツ、世界有数のものづくり技術を最大限活用することにより、アミューズメント性・エンターテインメント性・技術力の高い製品を供給できるものと考えております。

また、今回、事業を進めるに至った経緯として、はじめに当社代表取締役である吉田の親族から LTJ 社の木村氏の紹介を受けました。紹介された当時は、LTJ 社の設立前でありましたが、日本独自のコンテンツや技術力を取り入れたカジノ用ゲーミングマシンの開発を行うプロジェクトを準備されておりました。また、木村氏から Paradise Entertainment Limited (※1) の会長兼社長である Jay Chun 氏の紹介も受けており、本件の打ち合わせを重ねて参りました。木村氏のプロジェクトに対する熱意、海外における日本独自のコンテンツの需要、プロジェクトの成功を得るために必要な技術力等を確保していることから、プロジェクトの可能性を高く感じ、本プロジェクトへの参加を検討して参りました。当社は日本独自のコンテンツ獲得の役割を担うべく、当社が商社として消耗品を始めとする様々な商材の仕入、商材開発及び M&A 等において、培ってきたコネクションを最大限活用し、コンテンツ獲得を行うことによりプロジェクトの

成功がより強固なものになると考えております。

LTJ 社は、開発中である試作機の状況（詳細は「頁 3. 製品開発及びサービス」参照）やゲーミングマシン開発経験者の採用も積極的に行っていることから上記の目的を達成する為の技術開発力を有しておりますが、開発した製品の販売面においても、以下のとおり、中華人民共和国マカオ特別行政区（以下、「マカオ」といいます。）カジノ市場に強い、取締役を擁しております。

- (1) LTJ 社の代表である木村寿一氏は香港株式市場に上場する Paradise Entertainment Limited (Stock Code:01180) の子会社である LT Game Limited（以下、「LTG 社」といいます。）(※2) の取締役を務めるほか、Macau Gaming Equipment Manufacturers Association（以下、「MGEMA」といいます。）(※3) の副会長を務められております。
- (2) 取締役の Jay Chun 氏は香港株式市場に上場する Paradise Entertainment Limited の会長兼社長、LTG 社の社長であり、MGEMA の会長を務められております。
- (3) 取締役最高技術責任者の全俊沢氏は、株式会社ライジングエンターテイメントの代表取締役を務めており、これまで、大手遊技メーカーの 3D 映像やサウンド、液晶演出系などのソフトの企画、システム開発、アミューズメント機の企画・開発・設計に携わられております。なお、LTJ 社は株式会社ライジングエンターテイメントに対し、製品の開発・製造を委託しております。

なお、LTJ 社の取締役は、他社の取締役を兼務していることから、当社側から新たに取締役数名を派遣することを予定しております。取締役を派遣するとともに、コンプライアンス体制の強化、他の取締役の職務執行の状況を相互に監視・監督して参ります。

(※1) Paradise Entertainment Limited は、LTG 社や LT Macau Limited 等複数の子会社を有するホールディングカンパニーであります。LTG 社は、近年普及が進むライブ・マルチ・ゲーミング・システム(※4)（以下、「LMG システム」といいます。）に強みを持つ、マカオのカジノ用ゲーミングマシン及び部品メーカーであります。LT Macau Limited は、マカオのカジノライセンスを有する、香港株式市場に上場する SJM Holdings Limited (Stock Code:00880) と提携して、マカオ半島の中心区でカムベックパラダイスカジノ、ワルドカジノ、マカオジョッキークラブカジノ等の運営を行っております。

(※2) LTG 社は LMG システムに強みを持つマカオのカジノ用ゲーミングマシン及び部品のリーディング・カンパニーの一社であり、マカオのカジノスロットマシン市場のシェア 20%を有しており、電子カジノテーブル市場のシェアに至っては 60%を有しております。また、LTG 社は世界最大規模のスロットマシンメーカーの IGT 社 (International Game Technology PLC) と業務提携を行っております。

(※3) Macau Gaming Equipment Manufacturers Association は、大型国際ゲーミング（カジノ）見本市であるマカオゲーミングショー（以下、「MGS」といいます。）を主催するなど、マカオのカジノに関連する企業等で構成される最大級の協会の一つであります。

(※4) ライブ・マルチ・ゲーミング・システムとは、プレイヤーがタッチパネルで各テーブルの映像に切り替えながら、同時に複数のゲームに参加することができるシステムです。例えばマカオで最もメジャーなバカラのゲーミングテーブルの座席数は 6~8 人分で、プレイヤーは目の前で進行するゲームに参加するのが一般的ですが、LMG システムを導入することにより、複数のゲーミングテーブルのライブ映像をプレイヤーの手元の端末に配信することが可能となります。

・市場ターゲット

LTJ 社は世界最大のカジノ市場であるマカオ市場で市場シェアを持つ LTG 社からの出資を受けており、今後マカオ市場における LTJ 社製品の供給及びマカオ市場以外における LTG 社製品の販売に関して合意し

ております。LTJ 社は LTG 社の販路を活用することによりマカオ市場にカジノ用ゲーミングマシンを供給してまいります。また、LTJ 社の取締役が会長、副会長を務める MGEMA は大型国際ゲーミング（カジノ）見本市である MGS を主催していることから、MGS へ積極参加することにより、マカオ市場を足掛かりとし、フィリピン、ベトナム、シンガポール、マレーシア等の東南アジアに向けた商品供給ができるものと考えております。

また、世界最大のカジノ市場であるマカオ市場が属するアジアのカジノ市場の規模は世界の市場規模の半数を超えており、マカオ市場、アジア市場において LTJ 社の知名度・認知度を上げることにより、北米をはじめとする全世界のカジノ市場に LTJ 社が開発するカジノ用ゲーミングマシンを供給することが可能になるものと考えております。

現在、ゲーミング（カジノ）施設は世界 140 の国と地域で 4,000 施設以上が営業を行っており、アジアにおいては 200 以上の施設があります。また、マカオのコタイ地区を始め、フィリピンや韓国など複数の国で、更なるカジノ施設が建設中、建設計画中であることから、今後も施設数が増加していくことが予想されます。

・製品開発及びサービス

LTJ 社は、前述のとおり、日本独自のコンテンツや技術を取り入れたカジノ用ゲーミングマシンの開発、製作、販売を行って参ります。LTJ 社の試作機は、日本独自の新たな演出技法を採用したアミューズメント性・エンターテインメント性の高いスロットマシンとなっており、先日 5 月 17 日から 19 日にマカオで開催されたアジア最大規模のカジノ見本市である G2E（グローバル・ゲーミング・エキスポ）2016 においても、開催期間中 LTG 社のショールームにて LTJ 社の試作機 4 機が展示され、ショールームへの来訪者からは好評を得られております。なお、現在 2016 年 11 月に開催を予定している MGS への出展に向けプロトタイプの開発や量産体制の確立に注力しております。また、ゲーミングマシンの機械規則の認定機関である BMM testlabs（以下、「BMM 社」といいます。）からマカオ規則である DICJ 基準（※5）に対する認可を取得する為、BMM 社に対して機器の認定申請を行っております。

今後も、製品の供給方法・販売方法等にあわせ、各種認定の取得や各地域でのライセンスを取得するなどし、高いコンプライアンス意識を持ち、事業活動に取り組んで参ります。

（※5）DICJ 基準とは、マカオ地区においてゲーミングマシンをカジノ施設に設置する為には、マカオ政府博彩監察協調局（以下、「DICJ」といいます。）から認可を取得する必要があるため、認可を取得するために必要な基準であります。なお、今後、LTG 社が DICJ へ認可取得の為に申請手続きを行い、DICJ からの認可が下り次第、マカオ市場で販売を行って参ります。

また、G2E や MGS には日本企業、日系企業、自治体が参加しておりますが、LTJ 社のネットワーク・コネクションを活用し、新規参加者に対して出店支援等も行えるものと考えております。

一方、当社グループは、オフィスサプライ品・美容消耗品を始めとした消耗品商材を、全国の有力な卸・小売業者、カタログ・インターネット通販企業向けに販売するベンダー事業と、太陽光発電施設の販売・取次及び施工等を行う環境関連事業を主力事業として展開しております。

当社は、平成 27 年 8 月 12 日に公表した「第三者割当により発行される新株式及び第 3 回新株予約権の募集に関するお知らせ」のとおり、当社グループが今後、収益を確保し、かつ、安定的に成長していくために、既存事業だけではなく新規事業分野においても積極的な M&A や業務提携を行い、事業育成及び収益基盤の構築をしていくことが、当社グループの安定基盤の確立並びに企業価値向上に資するものと考えております。なお、LTJ 社に対する出資は中長期的に上記の目的達成に寄与するものと考えており、上記の増資資金をもって第三者割当増資の引受資金等に充当する予定でおります。

以上のように、新たな事業分野への出資となりますが、中長期的に見た際、当社グループ全体の企業価値向上につながるものと判断いたしましたので、第三者割当増資を引受（子会社化）けることによる、新規事業の開始を決定いたしました。

2. LT Game Japan 株式会社の概要

(1) 名称	LT Game Japan 株式会社							
(2) 所在地	東京都港区赤坂三丁目 13 番 14 号							
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 木村 寿一							
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノ用ゲーム機の開発、製作、販売、輸出及び保守管理等 ・カジノ施設に関する製品の開発、製作、販売、輸出及び保守管理等 ・国外におけるカジノ施設の企画、設計及びコンサルタント業務等 ・外貨自動両替機、現金自動預け払い機の開発、製作、販売、輸出入及び保守管理等 							
(5) 資本金の額	27 百万円							
(6) 設立年月日	平成 28 年 2 月 2 日							
(7) 大株主及び持株比率	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">木村 寿一</td> <td style="width: 50%;">71.75%</td> </tr> <tr> <td>全 俊沢</td> <td>17.94%</td> </tr> <tr> <td>LT Game Limited.</td> <td>10.31%</td> </tr> </table>		木村 寿一	71.75%	全 俊沢	17.94%	LT Game Limited.	10.31%
木村 寿一	71.75%							
全 俊沢	17.94%							
LT Game Limited.	10.31%							
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。						
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。						
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。						

(注) 対象会社は平成 28 年 2 月に設立しており、決算期を迎えていないことから、経営成績及び財政状態の記載を省略しております。なお、対象会社は資本金 20 百万円で設立しております。

3. LT Game Limited の概要

(1) 名称	LT Game Limited
(2) 所在地	(registered office) Commonwealth Trust Limited, Drake Chambers, Tortola, British Virgin Islands. (Macau Office) Suite 1208, 12/F, Macau Landmark No.555, Avenida da Amizade Macau
(3) 代表者の役職・氏名	Director Jay Chun
(4) 事業内容	・カジノ用ゲーム機の開発、販売及び保守管理等
(5) 資本金の額	US\$5,000-

(6) 設立年月日	2004年11月		
(7) 大株主及び持株比率	Paradise Entertainment Limited 82.00% 木村 寿一 18.00%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社は当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 (注)			
決算期	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期
連結純資産 (千HK\$)	1,175,290	1,191,529	976,564
連結総資産 (千HK\$)	1,313,647	1,259,236	1,053,722
1株当たり連結純資産 (HK\$)	1.14	1.12	0.92
連結売上高 (千HK\$)	1,030,455	1,192,288	1,092,078
連結営業利益 (千HK\$)	116,974	77,908	▲83,966
連結税引前当期純利益 (千HK\$)	103,789	44,888	▲148,573
連結当期純利益 (千HK\$)	103,778	66,541	▲148,913

(注) LT Game Limited は個別単体決算を開示していない為、親会社である対象会社 Paradise Entertainment Limited の連結経営成績及び連結財政状態を記載しております。

4. 第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	平成28年8月1日 (予定)
(2) 発行株式数	普通株式 2,320株 (7月1日696株、8月1日1,624株)
(3) 発行価額	1株につき 43,103.45円
(4) 調達資金の額	100,000千円
(5) 募集または割当方法	第三者割当の方法
(6) 割当先および割当株式数	当社 普通株式 2,320株

(注) 調達資金は、開発費の一部及び運転資金の一部として使用いたします。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	2,320株 (議決権の数：2,320個) (議決権所有割合：50.99%)
(3) 取得価額	第三者割当増資の引受 LTJ 社普通株式 100百万円 合計 100百万円
(4) 異動後の所有株式数	2,320個 (議決権の数：2,320個) (議決権所有割合：50.99%)

(注1) 法務費用・調査費用等(概算額)5百万円

(注2) 取得価額については、対象会社が今後1年間で必要とする資金を当社が取得を希望する株数(議決権の50%超)で除した金額を基礎として、両社で協議の上決定しております。

6. 第三者割当増資後の大株主および持株比率

実施前(平成28年6月30日現在)		実施後(平成28年8月1日(予定))	
木村 寿一	71.75%	ピクセルカンパニーズ株式会社	50.99%
全 俊沢	17.94%	木村 寿一	35.16%
LT Game Limited.	10.31%	全 俊沢	8.79%
		LT Game Limited.	5.05%

7. 日程

(1) 取締役会決議日	平成28年7月1日
(2) 第三者割当増資に関する最終契約の締結日	平成28年7月1日
(3) 第三者割当増資引受実行日	平成28年7月1日及び平成28年8月1日(予定)

8. 今後の見通し

本件が当期の連結業績に与える影響は軽微であります。業績への影響が重要なものとなる場合には、適正かつ合理的な数値の算出が可能になりました段階で公表いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成28年2月15日公表分)及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成28年12月期)	16,500	210	150	120
前期連結実績 (平成27年12月期)	15,921	45	34	1

以上